

【事例】 カヌー利用者による水辺からの景観を意識した護岸の整備

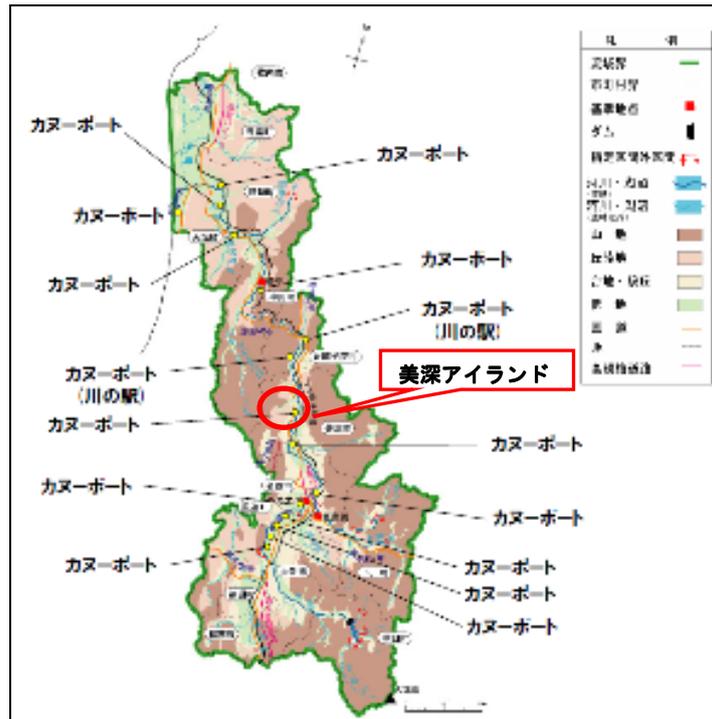
社会資本の概要

【所在地】 北海道中川郡美深町紋穂内左岸地先
 【社会資本の種類】 河川
 【社会資本の名称(事業名)】 天塩川(天塩川上流直轄河川環境整備事業)
 【事業主体】 国土交通省
 【供用開始時期】 1995年

配慮の概要

川下り拠点として活用できる低水路護岸を整備するにあたって、カヌー利用者が水面からの景観を楽しめるよう、自然の地形を利用して一部のみ河岸保護工を施したり、そのままカヌーポートとして利用したりしている。

位置図



天塩川中・下流域のカヌーポートネットワーク。美深アイランドカヌーポートを中心に天然のカヌーポートと一部河岸保護工を施したカヌーポートにより構成され、長距離のカヌーツーリングに対応している。
 また、カヌーの行程で1日ぐらいの距離に温泉、キャンプ施設を備えた「川の駅」を設置しており、カヌーツーリング、温泉、キャンプといった一連の体験型観光プログラムを提供している。

施設の状況写真



カヌーの利用も考えて低水路護岸で整備されたカヌーポート。車でのアクセスも容易である。



ハイシーズンには多くのカヌー利用者が訪れ賑わいを見せている。

観光との関わり	<p>○日本最長の川下りを楽しむ拠点</p> <p>天塩川には、旧風連町(現名寄市)にある風連20線堰堤下流から日本海に注ぐ河口まで河川横断工作物が一切無く、カヌーで下れる距離は 157km と、日本一長い。天塩川のこの特性に魅かれ、全国から多くのカヌー利用者が訪れている。</p> <p>現在では、川下りの拠点として整備した「美深アイランドカヌーポート」を中心に、全国的なカヌーツーリング大会「ダウン・ザ・テッシ・オ・ペツ」のほか、「天の川下りコンテスト」や「オープンカナディアンカヌーレース」などの各種イベントが開催され、毎年多くの観光客で賑わっている。</p>
配慮事項	<p>○天塩川中・下流域におけるカヌーポートネットワークの構築</p> <p>北海道開発局は NPO 法人「天塩川リバーネット 21」と連携し、天塩川中・下流域に複数のカヌーポートを点在して設置しネットワークを構築してきた。これは、カヌーで下れる距離が日本一であるという天塩川の特性に魅かれ、全国から集まってくるカヌー利用者の利便性を高めることを目的に行っている。</p> <p>○カヌー利用者が楽しめるよう、水面からの景観への配慮</p> <p>また、カヌーポートの設置にあたっては、自然の地形を利用して一部のみ河岸保護工を施したり、そのままカヌーポートとして利用したりすることによって、自然環境を保護し、カヌー利用者が楽しめるよう、水面からの景観を損ねないよう配慮している。</p>
その他の工夫等	<p>○自然環境を活かした低水路護岸整備</p> <p>天塩川の広い高水敷は、緑のオープンスペースとしての生産緑地を基調とし、沿川の風景と調和のとれた、身近な自然と触れ合う空間となるよう、低水路護岸として整備している。また、旧川郡で良好な自然環境を残しているものについては、その保全に努めるとともに、自然との触れ合いの場として管理し、市街地付近では親水性を保ちながら、スポーツ、レクリエーション等人々が楽しめる環境として整備している。</p> <p>これらの取組みにより、天塩川では、カヌー利用者に限らず、地元住民も含めて訪れる人が誰でも気軽に川へ入っていける高い親水性が維持されている。</p>
連絡先	<p>北海道開発局旭川開発建設部治水課 TEL:0166-32-1111 http://www.as.hkd.mlit.go.jp/chisui04/main_frame.html</p>
関連ホームページ	<p>天塩川水系河川整備計画 http://www.as.hkd.mlit.go.jp/teshio_kai/teshio/index.html</p>